

『土船かわら版』



ハロウィンのおぼけランタンたち

活動報告

「水保地区農林業振興地域づくり協議会」町内会長説明会実施！

水保地区農林業振興地域づくり協議会の設立と活動計画を説明するため、町内会長さんにお集まりいただきました。福島市の基金を活用するため、受託団体が必要であること、地域の区長や農業者・農業委員会が主たる役割を担い、福島地域福祉ネットワーク会議に事務局を置くことなどが説明されました。福島市の会議を経て決定後、活動開始となります。

水保地区内にお住いの高齢者等が困っている耕作放棄地問題に対応し、有効活用につながるケースについて協議し、ボランティアを含めた担い手とのマッチングを経て活動します。このため、地区内外からボランティア会員（お助け会員）を募り、作業を委託する高齢者等（お願い会員）の要望に応えます。自己負担を軽減しつつ、地域内外の助け合い活動の一環と位置づけ、環境保全や安全対策・社会活動への積極的な参加を実現します。是非、関心を寄せて頂き、お願い・お助けの両面からのご理解とご参加をお願いいたします。

お願い会員

実費負担あり

協議会でマッチング

お助け会員

有償ボランティア



「水保ハロウィンランタン祭り」10月25日（土）開催！

昨年度、土船区で実施して好評だった「ハロウィンランタン祭り」を、今年は水保地区の行事として開催出来ることになりました。水保地区農林業振興地域づくり協議会と福島学院大学との共催事業とし、水保小学校のご協力を得て10月25日（土）午後開催します。

今年も福島学院大学の杉浦教授のご指導の元、ハロウィンクラブの学生さんにサポートを頂きながら進めたいと思います。杉浦先生、毎年のご協力に感謝いたします！

先に子どもたちと一緒に苗植えを行ったハロウィン用のかぼちゃも順調生育中！事前に収穫体験も行う予定です。直前の週には東泉寺で展示用のランタンづくりも実施。当日は複数のランタンを掘ってもらった方はご家族用に持ち帰りも可能です。

水保地区内外を問わず、是非、ふるってご参加下さい！



◆事前制作◎東泉寺
10月20日（火）
～24日（金）
16:00～18:00

◆ランタン祭り
10月25日（土）
ランタン制作◎東泉寺
14:00～16:00
16:30 点灯
19:30 消灯



昨年の様子。杉浦先生の市道で製作～展示～コスチュームで参加されるご家族も！

令和4年に再開してより毎年恒例になっております千鉢講盆踊りが8月11日に行われました。今年も地域の皆様のご協賛・ご協力・ご参加を頂き行うことができましたこと書面上をお借りして感謝申し上げます。

過去2年は水保プロジェクトとの同日開催で、子供たちの参加が沢山ありました。今年は単独開催で、天候も雨予想で子供達が来るのか心配される中の開催でしたが、子供達への参加賞のお菓子の数を見ると80程配られており例年より少なくはなってはいますが、会場を見ていると大人・子供とも沢山参加して頂き例年同様の盛り上がりでした。

また今回はキッチンカーのロータスさんにも参加して頂き、中々食べることが少ないパインミー（スパイスサンドイッチ）・グリーンカレー・アンバターサンドその他オーガニックのジュース各種などを販売して頂き、オシャレで美味しくて予想より販売が伸びて一時パンの在庫が無くなるほど盛況でした。

このように、今年の盆踊りは心配が残る中での開催でしたが、沢山の方々に参加頂き、キッチンカーも大盛況にて終わることができました。これからも夏の地域のお祭りとして皆様の笑顔溢れるイベントとして続けていければと思います。



ご報告

水保地区民生児童委員さん連絡会

報告：阿部和徳（青葉学園施設長）

9月8日、青葉学園に福島市の民生児童委員協議会長（吾妻方部協議会長）、吾妻方部（水保地区）の児童民生委員、同じく主任児童員をお迎えし、連絡会を3年ぶりに開催しました。

会議では「青葉学園」を地区の民生児童委員の皆様にとって頂きたいこと、地域にとって青葉学園に求めるもの、民生児童委員の立場から見た水保地区の子どもの現状と課題等について、自分たちが日ごろから思っている感想など自由に意見交換を行いました。

まず、児童養護施設「青葉学園」は、様々な理由により社会的養護を必要とする児童の自立支援を行っていること、現在の国の「家庭的養護」の環境方針により少人数グループでの生活、施設の小規模化が図られていることなどを紹介しました。

児童家庭支援センター「あおば」については、養育への悩みや心配ごとに寄り添った伴走型支援や相談を行っていることや里親制度についても詳しく説明をさせて頂きました。

- ・地域を守るという点（登校児童）で防犯カメラ設置が必要。
- ・自治振興協議会、町会長連合会、民生児童委員、消防と地区の問題点を話し合っていくというのは大事である。という、大変貴重なご意見も頂戴しました。今後も地域の福祉向上のため、当連絡会を継続しますので、宜しくお願い致します。



広報

「ひまわり感謝祭」開催します

NPO法人シャロームが毎年開催している「土船ひまわりプロジェクト」では、今年も5月17日に豊稔祈願祭&ひまわり種播会を行い、この夏の気候ですくすくと育ちました。既に刈入れは済んでおり、次の作業の準備に取り掛かっています。この収穫の喜びを種まきに参加いただいた方のみならず、地区の皆さんとともに分かち合いたいと思い、来る11月8日（土）に収穫感謝祭を予定しております。芋煮を準備する予定ですのでご参加ください。



今年度、独立行政法人福祉医療機構(WAM)よりの補助金を活用し、関係者間で情報交換をおこなう「学習会」を開催します。@青葉学園いさごホール 13時30分~16時30分(予定)

この学習会では福島県内各地での「おでかけサポート」の報告を聞きあい、課題や今後の進展のための情報交換を行うものです。

全国での活動に関する知見豊富な河崎民子さん(「NPO 法人 全国移動サービスネットワーク」副理事長)を講師にお招きし様々なご助言やご意見も伺います。河崎さんは土船区でおでかけサポートを検討する際にアドバイスを頂いた方です。住民同士の助け合い・支え合いという福祉の原点に立ち、心身の健康の保持や社会参加、地域の活性化を目的とし、誰も孤立しない暮らしを実現するため、「移動」は重要なテーマです。参加ご希望の方は福島地域福祉ネットワーク会議までお申し込み下さい!



独立行政法人福祉医療機構
山形県庁 社会福祉振興助成事業

おでかけサポート実施中



福島地域福祉ネットワーク会議

今年も10月から11月にかけてザル菊が満開を迎えます。土船共同墓地公園に隣接する土地をお借りして令和2年に初めて植栽して今年で6年目を迎えました。

今年は春、植栽前に復興牧場さんより堆肥も頂き、苗作りから定職まではいつも通りの千秋会の役員や有志のみなさんをお願いしました。夏の干ばつにも負けず、成育は順調だと思います。

しかし毎年のごとくですが雑草の伸びは早く、心配していると、女性部の有志のみなさんには何回も除草して頂き、本当に感謝しております。地域の美しい環境を守っていくため、私たちに出来ることを無理をしないで取り組んで参りたいと思いますので、地域のみなさんにもご理解とご協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



私の家には4歳の黒のラブラドルレトリバーがいます。レトリバーとは「獲物を回収する犬」という意味があります。ご主人と一緒に出掛け仕事をする使役犬とも呼ばれる犬です。イエローのラブラドルは盲導犬として活躍しているのはご存じでしょう。大型犬に属するので、散歩のときに引っ張られて怪我をしないように訓練を受けています。(すでに何度か引っ張られて転んでいます) お願いした訓練士さんが災害救助犬を育てる方だったので、わが家の犬も何度かの試験を受けて、災害救助犬の資格を取りました。災害救助犬とは、地震や土砂崩れ等の災害で、倒壊家屋や土砂等に埋もれ、助けを必要とする人を、主にその嗅覚によって迅速に発見し、その救助を助けるように訓練された犬です。実際に災害現場に行ったことはありませんが、イベントなどでその能力を披露しています。

うちの犬は犬よりも人間が大好きで、知っている人を見かけると、ちぎれんばかりにしっぽを振って喜びます。食べるのが大好きで特に果物が好きなので、おいしい果物が豊富にある土船は彼にとって絶好の場所です。





板に油彩 38cm×25.5cm

地元の風景、夕方の鍛冶屋川を描いた絵です。川、ガードレール、橋が互いに面白い動きを作り出している構図が気に入っています。また、夕方の空に見られる繊細な色彩のグラデーション表現も力を入れて描きました。乾くのが遅い分ゆっくりと様々な表現ができることが油絵具の魅力であり難しい部分であると思います。

広大な
夜空に浮かぶ
月と星
僕らが出逢えた
奇跡そのもの

陽の光
浴びては浮かぶ
その頃の
楽しく駆ける
無邪気な笑顔

投稿俳句
募集中!

高校生「恋歌」への
「返句」が届きました!
ありがとうございます!

澄みわたる
青空見上げ
願う恋
叶うといいね
君の想いが

沈む陽の
夕日に祈る
この想い
明日の陽は
輝いているね



紅に
染まりゆく空
君想う
私も同じ
空を見てるよ
(はなもものおばさん)

白寿まで
願って飲みほす
菊の酒
(茂寿)

広大な
夜空に浮かぶ
月と星

僕らが出逢えた
奇跡そのもの



楽しく駆ける
無邪気な笑顔

投稿写真
募集中!

身近な風景より

携帯電話の写真の中から投稿ください!



県外にお住まいのご家族やお知り合いに「かわら版」をお送りください!
青葉学園で無料配布中!

2025.10.01. Ver.32

広報紙『土船かわら版』第31号 発行 福島地域福祉ネットワーク会議

事務局 〒960-2152 福島市土船字新林 24 番地 社会福祉法人青葉学園内

Mail : fukushima.chiikifukushi.ntwk@gmail.com Tel : 090-6553-1584・024-593-1022

※部数ご購入の方はご遠慮なくお問い合わせください ※ご希望・ご提案・ご相談も受け付けております